

# 愛知県のGAP推進の取組について

～愛知県GAP認証でオリ・パラ出荷を後押しします～

樋口達治（農林水産部農業経営課）

【平成30年2月15日掲載】

## 【要約】

GAPは、生産者自らが農業生産における各工程をチェックして改善に取り組む手法で、水準が異なる様々な種類がある。これまで愛知県では、環境と安全に配慮した農産物の供給のためGAPを推進してきた。現在、GAPの取組は広がり、安全な農産物生産への意識は高い。

このような中、県では、GAP認証の取得が必要とされる東京オリンピック・パラリンピック競技大会への出荷を希望する産地等に対応できるよう、平成30年4月から愛知県GAP認証制度を開始する。生産者の方は、農産物物流において信頼性を求める動きが逆戻りすることはないことを念頭に、GAPをステップアップしていただきたい。

## 1 GAPとは

GAPとは、Good Agricultural Practice の略称で、「農業生産工程管理」と訳され、農産物の安全性などを確保するため、生産者自らが、農業生産における各工程をチェックして改善に取り組む手法である。

GAPには、水準が異なる様々な種類があり、食品安全に関する事項が基本となって、国の「農業

水準ごとのGAPの種類	ガイドラインに準拠している都道府県GAP	JGAP	ASIAGAP	GLOBAL G.A.P.
運営主体	都道府県等	一般財団法人日本GAP協会		FoodPLUS GmbH(ドイツ)
取組事項			資材仕入先の管理等	
			農場経営管理	
			人権保護	
			労働安全	
			環境保全	
		食品安全（基本）		

図1 代表的なGAPの種類及び取組事項  
(農林水産省Web公開資料改変)

生産工程管理（GAP）の共通基盤に関するガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）では、環境保全、労働安全が加わる。ASIAGAPやGLOBAL G.A.P.などの国際水準のGAPでは、さらに人権保護（労務管理）、農場経営管理、商品回収テストなど資材仕入先の管理の実施までカバーする内容となっている（図1）。

## 2 愛知県におけるこれまでのGAP推進

愛知県では、GAPを環境と安全に配慮した農産物の供給を行う上で重要な取組として位置づけ、平成18年3月に、愛知県GAP「愛知県農産物環境安全推進マニュアル」を策定し農業者団体と連携しながら推進してきた。県内各地では農業改良普及課がJAと協力して生産者に対し、講習会を開催するなど、産地を支援してきた。現在、県内の主要な産地の8割近くが様々な水準のGAPに取り組んでおり、安全な農産物生産への意識は高まっている。しかし、国際水準のGAPに取り組む事例は少なく、認証取得には費用負担が

伴うため進んでいないのが現状である。

### 3 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた動きと愛知県の対応

東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「オリ・パラ」という。）における農産物の調達基準が平成29年3月に示された。基準は、「オリ・パラへ出荷できる農産物は、国際的に通用するGAPの認証を受けているか、ガイドラインに沿った都道府県GAPで都道府県等公的機関による認証を受けているものに限定する」とされている。

このため本県では、愛知県GAPをガイドラインに完全に準拠させ、平成30年4月から知事による認証を開始することとした。これにより、オリ・パラへの出荷を希望する産地等が、愛知県のGAP認証を取得すれば農産物を出荷できることになった。

この制度は、認証を希望する者が、ガイドラインに準拠ずみの愛知県GAPの取組を実施していることについて、県が確認し認証するものである。手続きの流れは、①生産者からの申請、②必須項目全てを実施していることを県が現地で確認、③その状況について審査、④知事が認証する（図2）。なお、団体としての認証も可能である。

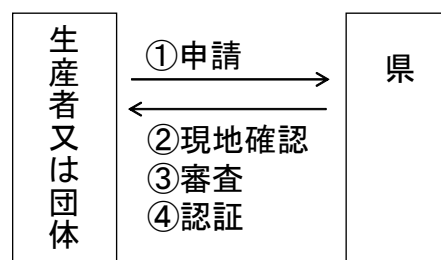


図2 愛知県GAP認証制度のフロー図

### 4 最後に

農産物物流において、信頼性を求める動きが逆戻りすることはないことを念頭に、GAPをステップアップする必要がある。生産者の方は、経営改善の取組につなげていただきたい。

愛知県GAPの公表WEBページ <http://www.pref.aichi.jp/nogyo-keiei/jizoku/>